

ロビー展

越川橋梁と斜里の鉄道

博物館資料から斜里の鉄道の歴史に迫る展覧会を開催中です。クラウドファンディングで全国の方々からご支援をいただき、越川橋梁の樹木除去が完了しました。14年ぶりに本来の姿を取り戻した橋梁の映像も公開中です。今月は担当学芸員による見どころトークも行います。●ロビー展▶会期：～12月26日(金)▶場所：交流記念館ロビー●ギャラリートーク▶日時：12月13日(土) 10:00～11:00▶場所：交流記念館ロビー▶申込：不要▶講師：三枝大悟学芸員



懐かしの鉄道資料

開館記念イベント

もちつき大会

博物館が開館したのは昭和53(1978)年12月28日、今年で47周年になります。開館を記念し、恒例の「もちつき大会」を開催します。お米を臼と杵でついて作るもちには強い霊力が宿り、食べると生命力が得られると言われています。日本の伝統行事であるもちつきを体験して、一年を締めくくり、心置きなく新年を迎えましょう。**暖かい服装で、ぜひご参加ください!**▶日時：12月21日(日) 10:00～11:30(悪天候の場合は中止)▶場所：博物館前庭▶参加費：無

料(要申込、協力会会員優先受付)

▶協力：博物館協力会▶定員：60名

収蔵資料展示 戦後80年企画

復員の日の靴

日本が終戦を迎えると、兵士たちは復員(軍隊の仕事を解かれ民間人に復帰)することになりました。すぐに戦地から帰れた人、外国で拘束され、苦しい日々を過ごした人…様々な思いや経験を抱えながら生きて帰ってきた方々が、戦後の斜里を作ってきました。

戦後80年企画最終回では、道内で終戦を迎えたある兵士が戦時中から愛用し、故郷に戻る際に身の周りの品を詰めて持ち帰った靴を展示します。▶会期：12月10日(水)～26日(金)▶場所：本館受付前

お知らせ

トビのビートさんお元気で

11月11日(火)に、野外観察園のワシ舎で保護していたトビの「ビートさん」を放鳥しました。今年の6月14日に網走市卯原内で保護されたときは片羽根を負傷し、飛べない状態でした。しばらく絶食が続いていたのか、かなり痩せており、餌を食べることもやっとでしたが、日に日に元気を取り戻し、ワシ舎の中を飛び回るまで回復しました。

放鳥は「はまなすスロープ」で行い、無事に飛び立っていきました。きっと今もどこかの、誰かの頭上でピーヒョロロロと気持ちよさそうに大空を飛んでいることでしょう。足にプラスチック製の黒いリングをつ

けていますので、もし見かけたら博物館まで教えてください。



放鳥の様子

ご報告

2025バスツアーえんがる周遊

10月19日(日)に博物館協力会バスツアーを開催しました。

遠軽町埋文センターでは瀬下学芸員の解説とともに黒曜石の旧石器時代にタイムスリップ。今シーズン最終便となった森林鉄道雨宮21号の乗車体験では、往時の「19」の番号プレートをつけた特別運行にプレミアム感を味わいつつ、丸瀬布昆虫生態館では、昆虫同好会の皆様が趣向を凝らせた、昆虫の生態を利用したアトラクションで大盛り上がり。バス車内の学芸員(とにわか遠軽案内人)による濃いめトークとおいしいランチも加わり、盛りだくさんツアーとなりました。



雨宮21号と一緒に

休館日

12月1日・8日・15日・22日(月)、27日(土)～28日(日) 大掃除、29日(月)～1月3日(土) 年末年始